

市報

特集

どや
土谷棚田を後世に

..... 1 ~ 9

まつら

Matsuura

6月号

2006

No.6

Contents

受章おめでとうございます.....	10
インフォメーション.....	11 ~ 15
まちの話題.....	16 ~ 19
旬の人.....	20
保健・年金.....	22
リレーエッセー.....	24

自然の恵み
土谷棚田
の魅力を
伝える
まよひ

特集

土谷棚田を後世に

玄界灘に沈む夕日が、水田を金色に染める幻想的な光景が望める福島町土谷地区の棚田。現在は写真愛好家をはじめ、多くの観光客が訪れる場所となりました。

米作りの場としては非効率的な棚田ですが、地区住民が主体となって棚田を守るための取り組みが行われています。

●土谷棚田

福島県の西側に位置する土谷棚田

守り続けられた土谷棚田

福島は急傾斜地が多く、稲作を行うための階段状の田んぼが多く存在します。土谷地区でも多くの労力を費やし、土谷棚田が開墾されてきました。

土谷棚田とは？

土谷棚田は、福島県の西側に位置する土谷地区にあります。西側に広がる約7畝の斜面に、約400枚の田んぼが海岸まで続き、明治時代から昭和初期にかけて、多くの労力を費やし開墾されました。棚田を支える構造は、石垣と自然の斜面を組み合わせて作られ、高いところになると5畝にもなる石垣が棚田を支えています。

棚田に見られる工夫

土谷棚田を潤す主な水源は湧き水で、斜面の最上部や棚田の石垣の間から出ている湧き水が水源として利用されています。冷たい湧き水をそのまま引き入れると稲の発育が悪くなります。そこで、湧き水を一度迂回させて田んぼの水との温度差を少なくする工夫が考えられました。現在でもその工夫は受け継がれ、土盛とプラスチック製の板を組み合わせて迂回路を作っています（左写真）。また、棚田はその構造上、自然の



水の温度差を少なくするための水路



水を無駄にしないよう整備された排水施設

灌漑設備として機能し、上段の田んぼからあふれた水が、下段の田んぼへ流れるように排水施設が作られ、水を無駄にしない工夫が見られます（右写真）。

稲作を行うためには大量の水が必要ですが、土谷棚田は島であるために限られた水量しか確保できません。そこで、水不足解消策として、昭和35年当時の農業協同組合長 故松本英徳さん指導のもと、梅雨時期の雨を利用した早期栽培に転換しています。その他、雨水を貯水し農業用水として利用するために多くのため池が建設されています。その中の一つは、島の上部にあり、揚水施設と合わせて、水の有効利用を行っています。

日本に伝えられた稲作

稲作の始まり

かつて水田稲作が大陸から伝わり、日本で初めて稲作が行われたのは唐津市の菜畑遺跡（なはたけいせき）だといわれています（唐津市末盧館資料）。縄文時代末期に日本へ伝わった稲作は、その後時代を経て日本全土に広がり、日本各地に水田が開かれています。

平地の水田と山間地の棚田

稲作を行うための水田は、広大で生産効率に優れた平野部と、水源の豊かな中山間地に開かれるようになりました。中山間地の多い日本では、必然的に棚田の割合が多くなったといわれています。

一般に棚田といえば、階段状の水田を総称しますが、水平方向に20畝進んだときに、1畝高くなる傾斜以上の土地にある水田が棚田と定義されています。日本にある棚田の面積を合計すると、約22万畝、全国の水田面積の8割に相当（平成9年・水田要整備量調査）し、多くは西日本の地すべり地に存在します。

棚田の危機と現状

現在の土谷棚田は、ほぼすべての田んぼが耕され水をたたえています。が、一時期休耕田が多く見られた時がありました。棚田は斜面に作られ、用水路の維持や農道の維持、災害時の補修などは大きな負担と重労働を伴います。そのため、棚田を耕作する後継者がいなくなり、休耕田が多くなりました。

後継者がいない田んぼでは高齢の農業従事者が作業を行います。が、農作業の負担が軽くなるよう、ほとんどの耕作者が機械を使うようになりました。しかし、昔のままの農道では機械の重みで崩れるなど危険が伴います。そこで、農道の舗装を行い、機械を使用して労力軽減を図ることで、後継者育成や棚田の耕作離れ解



棚田を支える昔ながらの石垣



労力軽減のために整備された水路と農道

消などにつなげています（右写真）。

また、土谷棚田には多くの補修跡を見ることが出来ます。棚田を支え続けた石垣は、年月を重ねることでその強固さを徐々に失い、大雨などの時には崩落してしまう事もあります。昔の補修跡には石垣で補修を行ったものを見ることが出来ますが、最近の補修跡には、コンクリートブロックでの補修が目立ちます。これは、棚田の形を維持しながらも労力軽減を図るためのものです。

そして、耕作している人たちにも変化が起きました。以前は「生産効率は悪いけれど、ここしか作る場所がないから仕方が無い」と考え、棚田で米作りをしていました。しかし、棚田百選への選定（※6ページ）や多くの観光客が訪れるようになったことで、棚田での米作りを楽しむことができるようになった人もいます。

守り続けられる土谷棚田の風景

行き届いた手入れによって、昔と変わらない棚田を維持しています。



昔



今

土谷棚田を
耕す

棚田耕作者

しずこ
中山 静子さん

(福島・土谷、72)



いつまでも棚田で米を作りたい
およそ40年ほど前から棚田での稲作を手作業でしています。昔は田んぼに筋を引いて、それに沿って手作業で植える光景をよく見ることができましたが、徐々に機械での田植えが増えてきましたね。また、後継者不足も残念に思います。

しかし最近では、多くの写真愛好家や観光客の方に楽しんでもらえているのでとてもうれしく思いますし、農作業の励みにもなっています。手作業の米作りは手間もかかりますが、収穫量も多く品質の良い米となります。これからもこの棚田で、手作業での米作りを続けたいと思います。

地域が動き出し

棚田が輝き出す

土谷棚田の耕作者は、土谷地区の住民がほとんどです。地域の住民が棚田を多くの人に知ってほしいと、地域が主体となって棚田をPRしています。

昔ながらの農作業風景を

土谷地区の有志が手作業での田植え実演を行い、多くの観光客から好評を得ています。毎年4月の終わりに



手作業で行われた田植え実演の様子

ごろに、昔の田植え道具を使って、夕日が映える棚田に手作業で植えていきます。

きっかけは、20年ほど前に手作業で田植えを行っていた光景が、数人の写真愛好家に好評を得たことでした。土谷地区の有志が昔の田植えを再現して観光客を呼び込もうと、田植えで使っていた道具や昔ながらの衣装などを準備し、手作業での田植えを始めました。

現在では、田植え実演の風景を求めて全国から写真愛好家や観光客が訪れ、実演当日には、土谷棚田展望所（※8ページ）で多くの人が田植え実演を待ちわびます。

今年は4月29日に実施され、早朝から多くの写真愛好家が土谷棚田展望所を訪れました。夕日に輝く棚田を手作業で植えていく様子は、まさに昔の農作業風景そのもので、多くの写真愛好家や観光客が毎年楽しみにしています。

棚田米のおいしさを伝えたい

土谷地区では、土谷棚田で収穫された棚田米を使ったおにぎりなどの販売を行っています。

棚田を訪れる観光客から、「棚田米を味わいたい」と言われたことがきっかけで、多くの人に棚田米のおいしさを伝えたいと、土谷地区の女性有志がおにぎり販売を始めました。今年もおよそ30キロの棚田米を使って、おにぎりや山菜おこわ、押し寿司を作り、土谷棚田展望所で販売しました。

また土谷棚田の火祭り（※6ページ）当日にも、棚田米のおいしさを訪れた多くの人に伝えました。



棚田米を使ったおにぎりを作る土谷地区の女性有志

土谷棚田を魅せる

田植え実演発起人
前田 重穂さん
(福島・土谷、63)



地域の大切な文化として

棚田の田植え実演を始めたのは、昔の農作業を見ることが現在の農作業がどれだけ楽しかったかを、若い世代の人たちに知ってもらいたいという思いもあつたからです。

今では連休の風物詩として、地元有志が集まって実施しています。一日だけしか実施できませんが、多くの写真愛好家や観光客に喜んでもらえ、実演する側としてうれしく思います。

昔ながらの手作業をいつまでも地域の文化として、棚田とともに守り続けたいと思います。

多くの人に

知ってもらうために

—土谷棚田保存会の結成—

平成11年7月26日、農林水産省は棚田の維持を目的として、土谷棚田を含む134地区の棚田を「日本の棚田百選」に選定しました。

これをきっかけに棚田保全への関心が高まり、平成16年、土谷棚田の耕作者や地区住民により土谷棚田保存会（永田恵会長）を結成。棚田の景観を守るための活動が開始されました。現在は、土谷地区と協力して、棚田を訪れる観光客へ棚田の説明や耕作放棄された田んぼの管理を行うなどの棚田保全、景観保全を行っています。



土谷棚田保存会の皆さん

また、長崎県内の棚田百選に選ばれた地域と連携し、長崎県棚田保全代表者会議（長崎県棚田サミット）を開催しています。平成16年5月には、土谷地区公民館を会場に第3回長崎県棚田保全代表者会議が開催され、県内の棚田保全団体や行政関係者と意見交換を行うなどの棚田を守るための活動を行っています。



第3回長崎県棚田保全代表者会議

棚田を活用した地域活性化

—土谷棚田の火祭り開催—

土谷棚田の火祭りは、3年前の田植えの季節に、永田会長が棚田から見える漁火（いさりび）にヒントを得て企画されました。棚田のあぜ道にたいまつを並べ、夜の棚田を演出しようと立案。

土谷棚田に
魅力を

土谷棚田保存会会長

めぐむ
永田 恵さん
(福島・土谷、65)



棚田の魅力を引き出して

地域活性化につなげたい

土谷棚田の火祭りは、夕日に輝く棚田としての魅力を持つ土谷棚田を、多くの人に知ってもらうことで、地域活性化のきっかけになればと考えたからです。今回多くの観光客を迎え、4回目となる土谷棚田の火祭りを開催しました。全国的にテレビや新聞などで取り上げられ、今まで以上に知名度があがったのではないかと思います。

火祭りが、多くの人の関心を集めていることにとっても驚いています。今後も、地域全体の活性化につなげていきたいです。

平成15年5月、土谷地区の有志でたいまつを試作し、棚田のあぜ道に並べて火を灯したところ、そこには夕日に照らされる棚田とは違った光景が広がりました。これが火祭りの始まりです。

その後、土谷地区の住民が協力して、たいまつ改良や実施計画を検討してイベントとしての火祭りが確立しました。その年の8月には、収穫の終わった棚田で500人ほどの観客を迎え、第1回土谷棚田の火祭りを行いました。

現在に比べて観客数もたいまつの数も小規模な開催でしたが、昼間の棚田とは違った表情を見せ、訪れた



土谷棚田に力強い太鼓の音が響き渡る

観客にも好評でした。翌年からは、たいまつが水面に映える5月上旬の土曜日に、多くの観客を迎えて開催されています。



たいまつで輝く土谷棚田

今年も、多くの地区住民や各種団体協力のもと5月7日に開催され、その光景は全国のニュースや新聞などで大きく取り上げられました。

今年も、多くの地区住民や各種団体協力のもと5月7日に開催され、その光景は全国のニュースや新聞などで大きく取り上げられました。

今年も、多くの地区住民や各種団体協力のもと5月7日に開催され、その光景は全国のニュースや新聞などで大きく取り上げられました。



点火される手作りたいまつ

手作りたいまつは火祭りの要！

― 地域住民の努力の結晶 ―

土谷棚田の火祭りでは、2,000本のたいまつが灯されます。そのたいまつは、空き缶を利用した手作り、強風の中でも消えにくい構造となっています。

たいまつは、多くの人が知恵を持ち寄り、工夫を重ね、素材や作り方、田んぼへの立て方など、試行錯誤しながら研究しました。その結果、たいまつ本体には190ミリのスチール缶、いわゆるコーヒークラスの缶に入れ、火を灯す芯を立て、支柱に吊り下げる方法がとられています。燃焼時間に大きな差が出ない



地域が協力してのたいまつ作成

よう、一つずつ丁寧に作られたたいまつは、約3分間隔で棚田に立てた支柱に吊り下げていきます。

点火は地区住民をはじめとした約40人で行われ、針金の先に灯油をしみこませた布を巻きつけた点火棒で、一本ずつ確実に点火していきます。



一つ一つ丁寧に作られるたいまつ

広く愛される土谷棚田

そして未来へ…

水面が夕日に照らされ美しく輝く光景は、多くの人々を魅了し、多くの人に愛されてきています。

土谷棚田の美しい風景は、地区住民や土谷棚田のファンによって多くの人に伝えられています。

多くの人に愛される

土谷棚田

土谷棚田が注目され始めたのは、約10年ほど前からです。それまでは、4月下旬から5月上旬に、棚田で作業する人や夕日に輝く棚田を撮影す

るため、数人の写真愛好家が訪れる程度でした。

しかし、ここ数年で田植えの季節にも土谷棚田を訪れる人が徐々に増え始めています。そのきっかけとなったのが、写真愛好家同士の情報交換などで、さらには雑誌などで夕日に輝く棚田として取り上げられたことでした。それに伴い、新たな観光スポットとして写真愛好家のみならず観光客の注目を集め、棚田が夕日に輝く田植えの季節には、多くの人でにぎわいを見せています。

また、火祭りの開催や地域主体の景観保全活動、周辺施設の整備などが評価され、平成17年の第10回ふるさとイベント大賞（財団法人地域活性化センター）の産業・観光部門賞受賞をはじめ、平成16年度の農村整備事業広報大賞優秀賞（全国農村振興技術連盟）、第1回とるばフォトコンテスト特別賞（道守九州会議）など多くの賞を受賞しました。



土谷棚田を訪れる多くの写真愛好家

土谷棚田を写す

写真撮影に訪れた

川添 茂弘さん
(福岡市、50)



すばらしい風景が魅力です

写真をはじめて間もないのですが、花や棚田などの自然を主に撮影しています。昨年までは土谷棚田の火祭りを見学して帰っていましたが、今年は写真に挑戦しました。

土谷の棚田は海に面したなだらかな地形で、やすらぎを与えてくれます。海、島に夕日が沈む景色、水田に映し出されるたいまつは最高ですね。

ここに来るまでに休耕田が多いのが気になりましたが、土谷棚田はほとんどの田んぼに水が張られ、すばらしい景観を保っています。いつまでもこの光景が続いてほしいです。

多くの人が訪れる場所に

観光スポットとして注目され始めたところは、付近を通行できないほどの路上駐車やゴミの放置、棚田へ立ち入った観光客があぜを踏み壊すといった被害が発生していました。

そこで、棚田を一望できる県道沿いの場所を、駐車場兼展望所として整備し、観光客を受け入れていきます。現在は、舗装された駐車場やベンチ、休憩所などが設置され、大型バスでの観光客も増加しています。



土谷棚田に整備された展望所

ファンと共に情報発信

土谷棚田は、火祭りの開催などがテレビや新聞、雑誌などで全国規模で取り上げられる機会が多くなり、着実に知名度を上げています。

そこで、もっと多くの人に土谷棚田の魅力伝えたいと、保存会と写真愛好家とが協力して、「土谷棚田美術館」というホームページを開設しています。土谷棚田に魅せられた写真愛好家が、ファンクラブを結成し、全国に向けて土谷棚田の風景や取り組みを紹介し、地域活性化の後押しや棚田の重要性について情報発信を行っています。



土谷棚田に魅せられたファンが作ったホームページ

土谷棚田美術館ホームページアドレス
<http://www.doya-tanada.com>

未来へ伝えたい棚田文化

地域の棚田保全や景観保全への取り組みが実を結び、美しい風景を求めて多くの観光客が訪れるようになりました。現在は体験型旅行や棚田オーナー制度など、より多くの人が直接棚田に触れ合える環境作りを進めています。

「棚田で米作りを行うことは重労働だけれども、苦勞をした分だけ収穫の喜びも大きくなる」と、棚田で耕作する人は話します。これからも地域をあげて、棚田を守り、後継者を育て、大切な文化として、今と変わらない土谷棚田の風景を伝えるための取り組みが続けられます。

土谷棚田を伝える



土谷地区区長

末吉 政和さん

(福島・土谷、64)

棚田の保全と後継者育成を

景観に優れた土谷棚田をいつまでも維持できるよう、地区全体が協力して棚田保全に努力しています。休耕田となった田んぼを、地区で管理することで、棚田保全と景観保全を両立させています。

現在、就労状況の大きな変化で、地区内の若者が農業へ関わる機会が少なくなっています。棚田という大きな財産をいつまでも守り、世代間交流を通じて農業後継者を育成できるように、棚田保全に努力したいです。

受章おめでとうございます

春の叙勲・春の褒章・高齢者叙勲の受章者を紹介します。

春の叙勲

瑞宝単光章

谷川 壽さん

(星鹿・青島、73)



昭和47年6月、呼子航路標識事務所（現唐津海上保安部）が所管する「魚島燈台」の看守補助員として委嘱を受け、また昭和51年3月伊豆島東方灯浮標が、昭和54年10月大野瀬灯浮標がそれぞれ設置されたことに伴い、3基の航路標識の灯火監視及び保守業務に従事されています。

航路標識の重要性を認識し、旺盛な責任感をもって、付近海域における航行船舶の安全確保や航路標識業務の円滑な運営に大きく貢献されました。

春の褒章

黄綬褒章

堤 幸介さん

(志佐・池成、79)



昭和58年5月から松浦市農業共済組合の理事長、平成6年7月から組合長理事に就任されました。

平成10年の長崎県北部農業共済組合の設立の際には、松浦、平戸、佐世保など11組合のまとめ役の一員として尽力されました。

平成16年5月まで同組合の理事、監事を務められ、常に組合員の先頭に立ち、旺盛な責任感をもって職務に精励し、農家や地域社会の発展を目指し活動されました。

春の褒章

黄綬褒章

辻川 康充さん

(星鹿・青島、51)



昭和54年2月から御厨郵便局郵便集配受託者として、御厨郵便局と青島の郵便集配業務に従事されています。

毎朝7時には自分の船で青島を出港し、御厨郵便局で区分け作業を行うと青島に戻り、集配で島内を回られています。

集配しながら高齢者の暮らしを見守り、これからも皆さんの大切な思いを乗せた郵便を届けていきたいと、職務に精励され、郵政事業の発展に大きく寄与されています。

高齢者叙勲

旭日単光章

亀屋 治良さん

(福島・鍋串、88)



昭和36年5月福島町議会議員に初当選以来、昭和58年4月までの間に、4期14年間町議会議員として在職されました。

また、昭和48年4月から6年間、鍋串地区の地区長として、地区内の事業推進に尽力されました。

卓越した見識と指導力をもって、議会の円滑な運営と議員の資質の向上に努めるとともに、産業の振興、教育文化、福祉の向上に尽くされ、地方自治の発展に貢献されました。

平成 18 年度 県立学校地域開放講座 (松浦東高等学校) 受講生募集

- 講座名 「楽しい園芸」講座
- 内 容 家庭でも手軽に楽しめる草花・野菜・フラワーアレンジを中心に園芸について楽しく学習します。
- 実施日時 6月24日(開講式)・8月26日・9月16日・10月14日・11月11日・12月2日(閉講式)(土) 午後1時30分～午後3時30分。
- 受講料 無料
- 募集人員 25人
- 申込受付期間 6月5日(月)～6月9日(金)。ただし、応募多数の場合は抽選とします。
- 申込・問合せ先 教育委員会生涯学習課



助役就任のごあいさつ

4月27日に市議会臨時会が開かれ、初代助役に黒田省司氏(61)の就任が決まりました。任期は4年です。
黒田助役は、広島県生まれ。昭和51年に九州・山口経済連合会に入社し、調査部長、常務理事、専務理事などを務め、昨年5月に退社しました。

助役に黒田省司氏

しょうじ

私、このたび助役を拝命いたしました。身に余る光栄で、責任の重大さを痛感いたしております。
次代へ漕ぎ出す松浦市の、個性とふれあいとぬくもりのある新しいまちづくりのために、私の民間での経験が少しでもお役にたてばと思っています。
友広市長の補佐役として、誠に微力ながら全力を尽くす所存でございます。
どうか皆様方の温かいご指導ご支援をたまわりますようお願い申し上げます。

保育所(園)での保育サービスをご利用ください

休日保育

保育所に入所中で、休日に就労等のため保育ができない児童を預ります。

＜実施保育所＞ 調川保育所

※調川保育所以外の保育所(園)に入所している児童も利用できます。

＜利用料＞ 2,500円

※給食の提供はありませんので、弁当・水筒を持参してください。

＜申込＞ 利用する7日前までに調川保育所または福祉事務所へ申し込んでください。

一時保育

就労、就学、通院等家庭の都合により保育ができない児童(保育所に入所している児童を除く)を預かります。

＜実施保育所＞ 公立・私立保育所(園)(鷹島保育

所を除く)

＜利用日数＞ 原則として月12日以内

＜利用料＞ 各保育所(園)により異なります。直接問い合わせてください。

＜申込＞ 各保育所(園)へ直接申し込んでください。

地域子育て支援センター

地域の子育て家庭を対象に園庭開放、乳幼児の子育て相談、サークル活動などを実施しています。

＜実施保育所＞ 今福保育所、御厨保育所、星鹿保育所、志佐保育園、まどか保育園、曙保育園、たのしか保育園、うつみ乳児保育園

＜実施日＞ 毎週定期的に園庭開放など実施しています。各保育所(園)に直接問い合わせてください。

＜利用料＞ 無料(一部実費負担があります。)

○問合せ先 福祉事務所児童家庭係または各保育所(園)



市役所からの お知らせ

母親クラブ会員を 募集しています

募集しています

母親クラブとは、松浦市児童館を拠点として活動している子育てサークルです。会員相互の親ばくと協力を基本とし、健やかな児童を育てるための知識や技術を身につけ、母親としての資質の向上と地域における児童福祉の向上に努めています。年間行事として、親子交流活動、奉仕作業、講習会、ケーキ作りなどを行っています。クラブに入会して母親同士の親ばくを深め、年間行事を通して子どもたちと楽しい思い出づくりをしませんか！

会員資格 市内在住の母親とその子ども
年会費 1家庭当たり1,000円
入会申込・問合せ先 児童館 ☎0956・72・1655

児童手当現況届の受付が 始まります

現在、児童手当受給中の人は、6月中旬にお知らせの文書を送付しますので現況届の手続きをしてください

い。この届は、毎年6月1日における状況を記載し、児童手当等を引き続き受ける要件があるかどうかを確認するためのものです。

なお、法改正に伴い4月・5月に新規に認定請求した場合は、現況届の提出は不要となります。

問合せ先 市民生活課住民係

行政相談所を開設します

市役所や国、県などの機関が行っている仕事について、意見や苦情、要望などはありませんか。次のとおり行政相談所を開設しますので、気軽にご相談ください。

日時 6月8日(木) 午前10時～午後4時
場所 市役所別館相談室
行政相談委員(敬称略) 川畑喜久雄 ☎0956・75・0724 青木サチ ☎0956・74・0456
問合せ先 総務課行政係

行政相談委員としての功績により、次の行政相談委員の方々に、それぞれ「表彰状」および「感謝状」が授与されました。

【九州管区行政評価局長表彰】

石橋 長嘉委員(鷹島・石川)

【長崎行政評価事務所長感謝状】

川畑 喜久雄委員(御厨・平瀬)

第48回 水道週間

6月1日～7日

毎日みんなが使う水、水道は暮らしを支えるみなもとです。市では安全でおいしい水を絶やすことなく送る努力を続けています。6月1日から7日までは水道週間です。皆さんも、水道の大切さについて考えてみましょう。



水道工事は「松浦市指定業者」に

配水管から家庭に引き込まれた給水管やメーターなどを「給水装置」といいます。給水装置の工事は個人で行うことはできません。松浦市の指定を受けた工事業者に依頼してください。工事費用については、皆さんと工事業者の間で取り決めることになります。

水道料金の口座振替のお願い

水道にかかる経費は皆さんの水道料金で賄われています。納め忘れないようお願いいたします。留守がちな家庭や、忙しい人などは口座振替が便利です。預金通帳と取引印鑑、水道料金の領収書を持参の上、金融機関に申し込んでください。

◆問合せ先 水道課、福島・鷹島支所建設水道課

市営住宅(特定公共賃貸住宅) 入居者募集!

募集住宅 福岡団地B棟102号(福島町塩浜免63番地3) 1戸(3LDK) **入居資格** ①条例に定める収入基準に該当する人 ②市税等の滞納がない人 ③単身者でない人 **申**

込方法 都市計画課住宅係または各支所に用意している「特定公共賃貸住宅入居申込書」に必要書類を添付し、申込受付期間内に申し込んでください。**受付期間** 6月1日(木)～30日(金) **詳しい内容の問合せ先** 都市計画課住宅係または福島支所建設水道課建設住宅係

プール管理員を募集します

市教育委員会では、夏休み中の、学校プール管理員を募集します

対象者＝原則として満18歳以上で管理員として活動可能な人 募集人員

＝各校2人（11校）期間＝7月21日

～8月31日 ※各学校開放計画による

業務内容＝プール施設の管理業務

募集校＝御厨小・星鹿小・田代小・大崎小・志佐小・上志佐小・調

川小・今福小・福島小・養源小・鷹島小

申込締切日＝6月16日（金）

申込・問合せ先＝居住地の校区の募集校

省エネ対策に市民の皆さんのご理解とご協力を

省エネ対策に市民の皆さんのご理解とご協力を

市役所では、地球温暖化防止を目的に夏季の省エネ対策の一環として、執務中の職員の軽装を奨励しています。

市民の皆さんも、来庁の際はノーネクタイ、ノー上着の軽装でお出かけくださいますようお願いいたします。

実施期間＝6月1日～9月30日 問合せ先＝総務課

松浦市情報公開条例の

実施状況

松浦市の情報公開条例第18条の規

松浦市個人情報保護条例の運用状況

松浦市の個人情報保護条例第47条の規定に基づき、運用状況を次のとおり公表します。

開示請求件数＝194件（開示193件、部分開示1件） 問合せ先＝総務課行政係

松浦市個人情報保護条例の運用状況

松浦市の個人情報保護条例第47条の規定に基づき、運用状況を次のとおり公表します。

開示請求＝0件 訂正請求＝0件 利用停止請求＝0件 問合せ先＝総務課行政係

学校開放！「みんなでオープンスクール」

～ようこそ、学校へ～

市内全小・中学校では、地域の中の学校として、学校教育についての理解を深めてもらうために、6月から毎月、休日を除く1日から7日までの一週間、「みんなでオープンスクール」として学校の諸活動を開放します。

ぜひこの機会に、地域の皆さん、保護者の皆さんに、日ごろの教育活動の様子をご覧いただき、子どもたちとふれあっていただければと思います。 問合せ先＝教育委員会学校教育課

ニュースポーツ案内人 —新体育指導員の紹介—

市では、生涯スポーツ振興のため42人の体育指導委員を委嘱しています。

ニュースポーツ等で聞きたいこと、知りたいことなど気軽に声をかけてください。

（任期＝平成18年4月1日～平成20年3月31日、敬称略）

地区	氏名
今福	寺澤 次雄
	寺澤 初義
	中里 好允
	松田 徳一
調川	古舘 智治
	宮田 和孝
	岩佐 淳子
志佐	田中力ズオ
	尾崎 勝
	山崎 昭
	川副 研二
	西田 真喜
	松尾 紘
	溝上 智子

地区	氏名
御厨	井手ケイ子
	古賀 昌男
	田中佳菜子
	山口 和美
星鹿	稲沢 素司
	今西 昭子
福島	島田 義一
	神田 浩史
	清田 敬一
	石竹 貞利
	滝野 昭吾
	林 光宏
	吉田 建也
	志水 孝信

地区	氏名
福島	前田 幹生
	木寺 修一
	高松 光博
	戸石川敏彦

地区	氏名
鷹島	中村 孝
	宮本 哲彦
	山邊 修治
	門畑 広美
	白石 宏治

地区	氏名
鷹島	里森 真琴
	永田 正実
	宮本 マリ
	森田 秋満
	椎山美智子



市民病院の眼科診療日を 週一回に変更します

長崎大学眼科医局の人事異動により、6月1日から眼科医の常勤が困難となり、眼科医による診療は、週一回となりました。診療の曜日は、市民病院に問い合わせてください。

市民の皆様には、ご不便をお掛けしますことをお詫びいたします。

問合せ先 市民病院医事係 ☎ 0956-72-2166

松浦高校なぎなた部員と一緒に「なぎなた」をしませんか

松浦市の「なぎなた」は、地域における強化拠点として県から指定されています。松浦高校なぎなた部員と一緒になぎなたをして、松浦市に「なぎなた」を根づかせましょう。

日時 毎週土曜日 午後1時～3時
場所 松浦市立武道館 対象 小・中・高・一般男女

問合せ先 教育委員
員会生涯学習課



その他のお知らせ

県立佐世保養護学校の
学校公開を行います

日時 6月27日(火) 午前9時～午後0時25分 対象 小・中学部・高等部の教育や就学、進学に関心のある保護者および関係者 内容 授業参観、施設見学など 問合せ先 県立佐世保養護学校 ☎ 0956-47-5966

法律相談センターを 開設します

長崎県弁護士会による法律相談センターを次のとおり開設します。相談する人は、事前に電話で予約してください。

日時 6月23日(金) 午後1時～4時
場所 文化会館 料金 30分ごとに5,000円 予約・問合せ先 長崎県弁護士会佐世保支部 ☎ 0956-22-9404

「裁判員制度説明会」の 参加者を募集します

平成21年5月までに裁判員制度開始
日時 7月24日(月) 午後1時30分～午後3時40分 場所 長崎地方裁判所平戸支部法廷 内容 ビデオ上映、裁判員制度ポイント解説、質疑応答 募集人員 30人 募集期間 6月12日(月)～7月21日(金) 午前9時～午後5時(土、日、祝日を除く) 申込方法 電話で申し込み

※30人になり次第締め切ります 申込先 長崎地方裁判所平戸支部庶務係 ☎ 0950-22-2004

「パーキンソン病患者および家族の集い」を行います

対象者 ①管内のパーキンソン病患者(特定疾患医療受給者で案内を希望する人) および家族等 ②パーキンソン病患者の療養生活に関わる人
日時 7月10日(月) 午後1時～
場所 県北保健所(田平町) 参加費 無料 従事スタッフ 専門医師、作業療法士、理学療法士、言語聴覚士等必要に応じて従事する 内容 パーキンソン体操、医師講話、質疑・意見交換、交流 申込期限 6月9日(金) 申込・問合せ先 県北保健所 ☎ 0950-57-3933

国家公務員採用Ⅲ種試験 (高校卒業程度)

受験資格 昭和60年4月2日(税務区分は昭和61年4月2日)～平成元年4月1日生まれの人 受付期間 6月20日(火)～27日(火) 第一次試験日 9月3日(日) 問合せ先 人事院九州事務局 ☎ 092-431-7733

市民の伝言板

苗木を無料配布します

電源開発(株)と九州電力(株)では、環境月間行事の一環として、苗木を街頭で配布します。数量に限りがありますので、早めにお越しください。

日時 6月7日(水) 午後2時～
場所 中央公園 問合せ先 九州電力(株)松浦発電所 ☎ 0956-72-1241

柔道をしてみませんか

松浦市柔道協会では、4月から柔道教室を始めました。やる気のある人、興味のある人を待っています。

練習日 毎週土・日、午後5時～7時
場所 武道館 対象 小・中学、高校生、一般の男女 入会金 1,000円 保険(年間) 1,000円以下 月会費 500円 問合せ先 理事長・久保川守 ☎ 0956-72-0237



プルサーマル

プルサーマルとは？

原子力発電所で使い終わったウラン燃料（使用済燃料）の中には、まだ燃料として再利用できる「プルトニウム」という物質が含まれています。この使用済燃料を再処理してプルトニウムを取り出し、ウランと混ぜて新しい燃料（MOX燃料^{モックス}）をつくります。それを現在使われている原子炉で燃やし（核分裂させ）発電するのがプルサーマルです。

プルサーマル計画説明会を開催

玄海原子力発電所プルサーマル計画説明会を5月15日、鷹島支所で開催しました。

玄海原子力発電所を中心とした半径10[※]km圏内の、防災対策を重点的に充実すべき地域の範囲にある鷹島町が、合併に伴って松浦市になったことから、プルサーマル計画を市民に周知するために開いたものです。

この日は、鷹島町内の市政嘱託員や農業、水産業などの関係団体から約65人が参加。九州電力から、原子力発電所を安定的に安全に運転することが最優先であることや、ウラン燃料を有効に利用し、廃棄物を低減化していくことなどの説明がありました。



参加した住民から「プルトニウムの海上輸送事故による海洋への影響はないか」「海を生活の糧にしている者は、プルトニウムの搬入、搬入により、今までにないリスクを背負うことになり、その不安感はぬぐい去れない」などの質問や意見が出ていました。

また、松浦地区では19日に、福島地区では23日に説明会を開催しました。

○問合せ先 総務課、企画振興課

日韓合同交流音楽会

○日 時 7月1日（土）

午後6時30分開場 午後7時開演

○場 所 文化会館ゆめホール

○料金（全席自由）一般＝2,000円 高校生以下＝1,000円

○入場券取扱先 教育委員会、教育委員会福島分室・鷹島分室、きらきら21、文化会館、各市立公民館、上志佐支所

○出 演

NEW PHILHARMONIA ORCHESTRA（指揮 林賢植）、OMURA室内合奏団（指揮 迫 昭嘉）

○プログラム

モーツァルト：アヴェ・ヴェルム・コルプス ほか

※市内コーラスグループで構成される市民合唱団が共演します。（予定70人）

○問合せ先 文化会館 ☎ 0956-72-5758



とき
**「旬あじまつり」
参加店舗に認定書**

「旬あじまつり」参加店舗認定書授与式が4月19日、松浦商工会議所で行われました。

「旬あじまつり」（まつうら海鮮街道実行委員会）は、ブランド魚「旬あじ」を使った料理を、期間中参加店舗で振る舞うもので、地産地消・交流人口増大を目的に昨年から開催。昨年は、旬あじ 1,500キログラム（7,500食）を売り上げました。

この日は、小松英史会長が「去年よりさらに料理やもてなしに力を入れ、交流人口増大につなげたいです」とあいさつ。その後、小松会長から市内の宿泊飲食施設、鮮魚店 14店の代表者に認定書が手渡されました。

「旬あじまつり」は、4月25日から8月31日まで開催されています。



まちの話題



**小学生が
バレーボールで熱戦**

第1回松浦市長旗小学生バレーボール大会が5月14日、御厨小学校と大崎小学校で行われました。

今大会には、市内の8チーム約100人が参加。2パートに分かれて予選を行い、各パートの上位2チームが決勝トーナメントに進み、順位を競いました。

上位の結果は次のとおりです。

- 優勝 鷹島クラブ（鷹島小）
- 準優勝 青葉クラブ（御厨小）
- 3位 新星クラブ（星鹿小）
- 飛鳥クラブ（今福小）



今年度も修学旅行生受け入れがスタート

4月26日、27日を皮切りに、今年度の修学旅行生の体験型旅行受け入れが始まりました。

交流人口の増大を目指し、平成14年に発足した松浦体験型旅行協議会（会長 友広郁洋松浦市長）では、その翌年から修学旅行生の受け入れを始め、農村・漁村体験と民泊体験を行っています。

今回は、滋賀県湖南市立石部中学校の生徒125人が田代地区と星鹿地区で各体験を実施。星鹿地区で、船釣りや港釣り、養殖場の餌やりなどを体験した生徒たちは「普段しない体験ばかりで、海に来たことなどすべてが貴重な体験でした」と話していました。

今年度は、関西・関東方面の中学・高校50校から約9,000人の受け入れを予定しています。

グラウンドゴルフなどで交流

第1回松浦市婦人ページェントが5月14日、不老山総合公園で開催されました。

志佐・星鹿・今福・鷹島の婦人会会員で構成する松浦市地域婦人会連絡協議会（上松シズエ会長）が、会員相互の交流を目的に開催したものです。

この日は、会員約150人が参加。グラウンドゴルフや鷹島音頭、よかところ節、輪投げ、ボール送りなどを行い、参加者は楽しいひとときを過ごしました。



中興化成工業が工場新設

中興化成工業S C工場（本社東京、木曾節文社長）の地鎮祭が4月24日、松浦臨海5号団地（調川町）で行われ、建設工事が始まりました。

新工場では、自動車の側面衝突時に作動するエアバッグのコーティング加工を行います。

この日は、関係者約60人が出席。木曾社長が「エアバッグ関連企業への地域の大きな期待を感じました。一日も早い本格稼働を目指したいです」とあいさつし、工事の安全を祈願しました。

新工場は、床面積約4,700平方メートル。今年11月の完成、来年度操業予定で、3年後の本格稼働を目指します。また、地元雇用約50人を予定しています。



旧松浦准看護学院同窓会が医学書を寄贈

4月25日、旧松浦准看護学院同窓会（久家みや子会長、平成3年閉校）から市立図書館に医学書などが贈られました。

昭和48年から閉校までの卒業生（約270人）で集めていた同窓会費を利用して購入。「地域の医療向上に役立ててもらいたい」と贈られたものです。

この日は、同学院の元事務局長・武部周清さん（今福・北東1）と元講師・山口和美さん（星鹿・川原辺田）が図書館を訪れ、医学大辞典など84冊を寄贈。武部さんが「看護師を目指す人の看護活動に役立ててほしいです」とあいさつし、小田嘉和教育委員長へ目録を贈呈しました。

また、当時実習の受入先だった市内の病院や施設にも110冊の医学書などを贈る予定です。



市政・農業嘱託員に委嘱状を交付

「平成18年度松浦市市政嘱託員及び農業嘱託員委嘱状交付式」が4月21日、文化会館で行われました。

式では、友広郁洋市長が市政嘱託員146人と農業嘱託員91人の代表者に委嘱状を交付。嘱託員を代表して渡口誠一さん（今福・北東3）が「新市が誕生し記念すべき時、責任の重さを痛感しています。市全体の一体感を大切に、誠意をもって努力していきます」とあいさつしました。

また、市政功労者の表彰も行われ、10年在職として松尾英一さん（今福・東新町）と快勝院一誠さん（志佐・岸浜）が、9年在職として中村俊彦さん（志佐・立石川）が表彰を受けました。

花に囲まれリフレッシュ ー福島ハーブフェスター

5月3日から5月5日まで、蛙鼻公園で福島ハーブフェスタが開催されました。

毎年ハーブ研究会主催で開催していて、今年は市内外から2,000人を超える人が訪れました。

五月晴れの中、園内に植栽してあるハーブの名前を当てるウォークラリーや、公園内の池でのマス釣りを楽しみました。訪れた観光客は「美しく咲く花に囲まれ、親子共々リフレッシュできました」と話していました。



松浦メロンまつりにぎわう

毎年恒例の「松浦メロンまつり」が5月6日と7日の2日間、海のふるさと館で開催され、キンショーマロンとアールスメロンなどを販売しました。

キンショーマロンは、春先の冷え込みで昨年よりやや小ぶりながら、気温の格差で甘さは十分。市価より安いとあって、市内外の買い物客が大勢つめかけ、約2,000ケースのキンショーマロンとアールスメロンが飛ぶように売られていました。

また会場では、新鮮なメロンを遠くの知人や親せきに送ろうと、宅配コーナーにも長蛇の列ができていました。

平戸神楽を奉納

志佐町浦免にある住吉神社で4月28日、平戸神楽が奉納されました。

長崎県神道青年会松浦支部（中川明宏代表）が、地域の伝統芸能を通して国旗の掲揚を呼びかけようと開催したものです。

平戸神楽は約300年ほど前に、平戸藩の家臣が全国の神楽を研究し誕生したとされ、九州を代表する神楽として、国の重要無形民俗文化財に指定されています。

この日は弓と刀の威力で災いを払う「二弓」（写真）や、相手を抱え上げて激しく回転させる「神相撲」などが奉納され、見守った地域住民約30人から大きな拍手が上がっていました。



3支部で定期総会 ー松浦市身体障害者福祉協会ー

平成18年度松浦市身体障害者福祉協会松浦支部の定期総会が5月3日、松浦市ふれあいセンターで開かれました。

岸田義孝^{よしただ}会長が「障害年金受給者の生活は厳しい状況にあります。障害者の立場を考え、合併して良かったと思える市になって欲しいと思います」とあいさつ。参加した会員や関係者約60人は、今年度の活動方針や行事計画などを確認しました。

また、福島支部、鷹島支部でも総会を開き、6月17日の同協会代議員総会では、今年度の協会活動方針や行事計画などを決定します。



踊りで交流 —モンゴル村ちびっこまつり—

モンゴル村ちびっこまつり（鷹島公社主催）が5月4日、モンゴル村で開催されました。

ヨサコイ踊りを通して子どもたちの交流を深めようと、「子どもの日」にちなんで開催されたものです。

この日は、鷹島町ソーラン隊の子どもたちで結成された「鷹島ヨサコイ踊り鷹」が、ヨサコイ踊りやテレビで人気のダンスなどを披露したほか、佐賀県基山町から、ヨサコイ踊り大会で数々の優勝経験をもつ「美勝女隊^{びしょうじょたい}」の子どもたちも踊りに加わり、交流を深めました。



和船競漕で熱戦

鷹島町阿翁浦地区の伝統行事で「せいぐろ」と呼ばれる和船競漕大会（和船競漕保存会主催、瀬戸正義会長）が5月5日、阿翁浦港で開催されました。

地域の活性化や豊漁、子どもの健やかな成長を願って毎年「こどもの日」の5月5日に開催。平成5年に旧鷹島町の無形民俗文化財に指定されています。

今回は、阿翁浦地区を中心に市内から24チームが参加。和船に約10人が乗り込み、往復300^{メートル}のコースでタイムを競いました。約1,000人の観客が見守る中、選手たちは熱戦を繰り広げました。

上位の結果は次のとおりです。

- ①阿翁浦地区9、10組（3分16秒）
- ②阿翁浦地区7、8組（3分21秒）
- ③新松浦漁協A（3分23秒）

ツツジをバックにイベントにぎわう —不老山花と光のフェスター—



4月15日から30日まで「第10回不老山花と光のフェスタ」が開催され、期間中市内外から約3万人が訪れました。

また、23日、29日には、グラウンドゴルフ大会や各種ステージイベント、スケッチ大会、薬草ハイキングなどが行われ、訪れた人たちはツツジをバックに各イベントを楽しんでいました。

グラウンドゴルフの上位の結果は次のとおりです（敬称略、（ ）はチーム名）。

- ①金嶽秋男（鷹島三里）②富本眞澄（里不老会）③富本丸子（里不老会）④前田美智子（駅通り）⑤片山松雄（殿之浦）



興星館が全国大会へ

— 第29回長崎県少年剣道錬成大会兼
第41回全日本少年剣道錬成大会

長崎県予選で3位入賞 —

写真右から

大野 花華^{はるか}（星鹿・牟田）

林 健二郎^{けんじろう}君（星鹿・川原辺田）

大石 翼^{つばさ}君（星鹿・川原辺田）

倉橋 賢多^{けんた}君（星鹿・川原辺田）

若松 達矢^{たつや}君（星鹿・川原辺田）

下田 鴻亮^{こうすけ}君（星鹿・下田）



4月23日に諫早市で開催された平成18年度第29回長崎県少年剣道錬成大会兼第41回全日本少年剣道錬成大会長崎県予選（全日本剣道道場連盟主催）で、興星館が団体小学生の部で3位入賞を果たし、全国大会出場を決めました。

この大会には、県内の小、中学生約460人が参加。3位入賞を果たしたのは、星鹿小6年生の林健二郎君、大石翼君、倉橋賢多君、若松達矢君、下田鴻亮君、大野花華さんの6人で、7月26、27日に日本武道館で開催される全国大会に出場します。

団体戦大将の下田君は「予選では、みんなあまり調子がよくなかったのですが、粘り強く戦って3位に入賞できました。全国大会に出場できるのでとてもうれしいです。チームで力を合わせて、全国優勝めざして頑張ります!」と話してくれました。

わたしたちの郷土 五巻

松浦の気候

松浦市の沖合いには対馬暖流という海流が流れています。この対馬暖流は黒潮の一部が黄海冷水と交じり合って新しくできた海流で、対馬海峡を通り日本海へ抜けています。黒潮に比べて流路ははつきりせず、流量も約10分の1で温度や塩分も低くなっています。しかし、松浦市の気候に与える影響は大変大きなものがあり、四季を通じて温暖な気候に恵まれています。植生は、温暖なところに育つ照葉樹林という葉の表面にツヤがある樹木が一般的です。その代表が「つばき」です。福島町の北端の初崎灯台へつく道沿いには、5万本の藪つばきが自生する群生林があります。今山神社社叢や福寿寺のイロハモミジなども暖地の植物です。

気候は日本海型気候で、冬は季節風が強く、空気は乾燥していて雪が降ることはまれです。気温は暖流の影響を受けているため年間の平均気温は16℃前後で比較的最低と最低の温度差が少ないようです。長崎県の年間雨量は2,000ミリの降水量がありますが約1,800ミリとやや少ないようです。冬の北西の風と夏の台風の影響はありますが、すばらしい自然に恵まれています。



初崎つばき群生林

パンフレット「福々の島ふくしま」より



コラム

アンドルー・デビット
(オーストラリア出身)

Australian Holiday オーストラリア人の休暇



タイ旅行の様子

日本人とオーストラリア人は休暇中の旅行について、大きく違った考えを持っています。

最近私は、日本式に短い期間で初めてタイに行きました(当初3日間滞在の予定が、ハプニングが生じたため、出発が遅れて2日間の滞在となりました)。2日間の滞在は、ハードスケジュールで眠る暇もありませんでした。私にとって、そんな旅行をすることはとても妙なことでした。しかし、私の日本人の友達も、もっと短期間でハードスケジュールの旅行を定期的に行っています。最も安い飛行機でオーストラリアへ行くには、24～26時間かかります(直行便は約8時間です)が、私の日本人の友達は、シドニー滞在2日間、移動に2日間という旅行をしました。素晴らしい経験をし、また行きたいと言っています。オーストラリア人にとっては、現地の滞在時間は移動に要する時間よりも長くないでなりません。日本人とオーストラリア人は優先することが違ってきます。日本の人々は旅行中にたくさんの経験をしたいようですが、オーストラリア人はのんびりとゆっくり過ごすことを好みますから、休暇をとって2～3週間かけて旅行することは普通なのです。



問合せ先 保健年金課

国 民 年 金

◆保険料免除の段階が増えます◆

国民年金には、経済的な理由等で保険料を納めることが困難な場合に、申請により保険料の納付が免除される制度があります。

平成18年7月から、より納付しやすい環境とするため、従来からの全額免除及び半額免除に加え、4分の1免除と4分の3免除の新しい段階が加わります。

◆免除は社会保険庁のホームページをご覧ください◆

社会保険庁のホームページから、学生納付特例のページ上で、申請様式を印字（プリントアウト）できるようになりました。一般免除の申請様式についても間もなく同様に印字できるようになります。

これらの申請書は、郵送でも受け付けますので、市役所（支所）へ直接行くことなく申請の手続きができます。ぜひご利用ください。

◆国民年金保険料の強制徴収を拡大します◆

国（社会保険庁）は、国民年金保険料の負担能力がありながら未納となっている人を対象に、平成15年度から預貯金の差し押さえなどの強制徴収を実施しており、平成18年度以降さらに拡大し強化を図っていくこととしています。

強制徴収の実施は、本人の年金受給権確保、まじめに納付していただいている人との公平性を確保していくことのみならず、公的年金制度への信頼性を高める手段のひとつです。

保険料が未納となっている人は、不要な強制徴収を受けないために、保険料を納付していただくか、諸事情によって納入が困難な場合は、最寄りの社会保険事務所へご相談していただくことが必要です。

保健センター ☎ 0956-72-4747

日本脳炎予防接種

日本脳炎予防接種は、毎年5月～6月に実施していましたが、昨年、国からの通知を受け、新しいワクチンが開発されるまで接種を積極的に勧めることを差し控えるようにしています。

なお、日本脳炎予防接種による副反応が発生する危険性があることを十分理解した上で、蚊に刺されやすい場合等、保護者の判断で接種することができますので、下記までご相談ください。

【日本脳炎接種対象者】

○3歳以上7歳6か月未満（初年度1から4週間隔で2回接種し、翌年度追加接種として1回接種）

○小学4年生と昨年度未接種の小学5年生（1回）

●問合せ先

松浦市保健センター ☎ 0956-72-4747

福島保健センター ☎ 0955-41-3005

鷹島支所 ☎ 0955-48-3111

6月4日～10日は歯の衛生週間です

皆さんは、むし歯予防と歯周病予防はできていますか？かかりつけの歯科で定期検診を受けていますか？むし歯を予防するためには、子どもの頃からの食習慣と歯みがきが大切です。以下のことを心がけましょう。

- ① バランスよく何でも食べ、しっかりよく噛んで食べましょう。
- ② 食後の歯みがきで、口の中をいつも清潔にしておきましょう。
- ③ 菓子類や清涼飲料水などの糖분을摂りすぎないようにしましょう。

大人の歯が抜ける最大の原因は歯周病です。特に50歳以降に抜けていく割合が高くなっていきます。失ってから歯の大切さに気づくのではなく、早い時期から歯を大切にしていけることが歯の喪失防止につながります。

歯周病予防のために以下のことを心がけましょう。

- ① 食べた歯をみがきましょう。また、磨き残しが残らないよう、デンタルフロスや歯間ブラシを使って丁寧にブラッシングすることが大切です。
- ② 糖분을控えましょう。
- ③ 栄養バランスのよい食事を心がけましょう。
- ④ ストレスをためこまないようにしましょう。
- ⑤ たばこは控えましょう。
- ⑥ 歯科医で定期検診を受け、歯石も除去してもらいましょう。



行事カレンダー

毎月1日は「少年の日」

SUN (日)	MON (月)	TUE (火)	WED (水)	THU (木)	FRI (金)	SAT (土)
第48回「水道週間」 6月1日～7日 安全と おいしさごくり 水道水 (全国スローガン)						
4 ・養源小学校運動会 ・一般家庭ごみ受入れ 9:00～12:00 13:00～16:00 北松北部クリーンセンター 空き缶回収キヤンペーン 各地区	5 図書館休館日 文化会館休館日 ・認知症の家族を抱える介護者の会 13:30～15:30 きらきら21 ・志佐ペンタクラブ 11:00～きらきら21 ・健康相談 9:30～12:00 保健センター	6 ・星鹿ペンタクラブ 10:00～ 星鹿コミセン ・酒で悩んでいる人の集い 13:30～16:00 きらきら21	7 ・離職者相談 10:00～16:00 市役所別館相談室 ・リハビリ教室 13:00～16:00 鷹島高齢者生活福祉センター	8 ・行政相談所 10:00～16:00 市役所別館相談室 ・引取り犬回収 8:30～10:00 鷹島支所	9 ・第23回ゲートボール愛好者大会 福島総合運動公園 ・引取り犬回収 8:30～10:00 各支所(鷹島支所を除く) ・いきいき教室 10:00～15:00 福島保健センター	10 ・身体障害者相談 9:00～12:00 社会福祉センター横
11 ・第28回壮年ソフトボール大会 福島総合運動公園	12 図書館休館日 文化会館休館日 ・御厨ペンタクラブ 10:00～ 御厨公民館 ・健康相談 10:00～12:00 鷹島高齢者生活福祉センター	13	14 ・中学校総合体育大会 (陸上競技) 松浦市運動公園 ・リハビリ教室 13:00～16:00 鷹島高齢者生活福祉センター	15 ・福島ペンタクラブ 10:00～ 養源保育所	16 ・鷹島ペンタクラブ 10:30～ 鷹島保育所 ・いきいき教室 10:00～15:00 福島保健センター	17 ・酒で悩んでいる人の集い 19:00～21:00 きらきら21
18	19 図書館休館日 文化会館休館日 ・健康相談 9:00～11:00 福島保健センター	20	21 ・離職者相談 10:00～16:00 市役所別館相談室 ・リハビリ教室 13:00～16:00 鷹島高齢者生活福祉センター	22 ・年金相談 10:00～15:00 市役所別館会議室 ・引取り犬回収 8:30～10:00 鷹島支所 ・転倒骨折予防教室 9:00～10:30 伊万里釜地区公民館	23 ・法律相談センター 13:00～16:00 文化会館 ・引取り犬回収 8:30～10:00 各支所(鷹島支所を除く) ・いきいき教室 10:00～15:00 福島保健センター	24 ・松浦東高校地域開放講座 13:30～16:00 松浦東高校
25	26 図書館休館日 文化会館休館日 ・総合健診 8:30～10:30 13:30～15:00 福島保健センター	27 ・総合健診 8:30～10:30 13:30～15:00 鍋串公民館	28 ・総合健診 8:30～10:30 13:30～15:00 鍋串公民館 ・リハビリ教室 13:00～16:00 鷹島高齢者生活福祉センター	29 図書館休館日 ・総合健診 8:30～10:30 13:30～15:00 福島保健センター	30 ・総合健診 8:30～10:30 13:30～15:00 福島保健センター ・いきいき教室 10:00～15:00 福島保健センター	

右側のミシン目から切り取って利用してください

★ もよおし・講座 ★

中央公民館 (市役所内線 507)

15日 (木) ・ 高齢者学級 10：15 ～ 万年青荘
16日 (金) ・ あんでるせん手芸教室 13：30 ～
19日 (月) ・ きらきらレディーヌ講座 13：30 ～

今福公民館 ☎ 0956-74-1669

13日 (火) ・ 婦人学級 9：30 ～ 市役所
15日 (木) ・ 読み聞かせ会 10：00 ～ 今福保育所
16日 (金) ・ ふれあい運動会 10：00 ～ 今福保育所
20日 (火) ・ 高齢者学級 10：00 ～ 龍崎コミュニティセンター
21日 (水) ・ お菓子づくり 10：00 ～

調川公民館 ☎ 0956-72-3062

3日 (土) ・ 園芸教室 10：00 ～
8日 (木) ・ 高齢者学級 13：30 ～
8日 (木) ・ 婦人学級 13：30 ～
18日 (日) ・ お魚料理教室 10：00 ～
28日 (水) ・ きっかけづくり教室 13：30 ～

御厨公民館 ☎ 0956-75-0033

2, 9, 16, 23, 30日 (金)
・ 健康づくりウオーキング 10：30 ～
8日 (木) ・ 幼児教室 10：30 ～
13日 (火) ・ 婦人学級 13：30 ～
16日 (金) ・ 韓国語講座 13：30 ～
21日 (水) ・ 子育て支援講話会 19：30 ～

星鹿公民館 ☎ 0956-75-1630

3日 (土) ・ 寄せ植え教室 14：00 ～
6, 20日 (火) ・ 一般教養講座 13：30 ～
14, 28日 (水) ・ ハンドル講座 13：30 ～
19日 (月) ・ つんなも会 13：30 ～ 星鹿老人いこいの家
22日 (木) ・ 女性塾 13：30 ～

福島公民館 ☎ 0956-47-2006

15日 (木) ・ 高齢者教室 10：00 ～

★ 子どものけんこう ★

松浦市保健センター

14日 (水) ・ 乳児健診 11：45 ～ 13：30 (個別通知あり)
15日 (木) ・ ボリオ予防接種 13：30 ～ 15：00
場所：文化会館 (個別通知あり)

19日 (月) ・ 母子手帳交付・妊婦相談 13：00 ～ 14：00
19日 (月) ・ マタニティ教室 13：00 ～ 15：30
20日 (火) ・ 3歳児健診 11：45 ～ 13：30
(個別通知あり)

21日 (水) ・ 乳幼児相談 9：30 ～ 12：00
21日 (水) ・ 離乳食教室 13：30 ～ 15：30 (個別通知あり)
22日 (木) ・ 1歳6か月児健診 11：45 ～ 13：30
(個別通知あり)

福島保健センター

7日 (水) ・ 幼児歯科健診 9：45 ～ 15：30 (個別通知あり)
8日 (木) ・ 幼児歯科健診 9：45 ～ 15：30 (個別通知あり)
12日 (月) ・ 乳幼児相談 13：30 ～ 15：00
12日 (月) ・ 育児教室 13：30 ～ 15：30
21日 (水) ・ 離乳食教室 13：30 ～ 15：30 (個別通知あり)

鷹島診療所

16日 (金) ・ ボリオ予防接種 15：00 ～ 16：00
(個別通知あり)

鷹島高齢者生活福祉センター

2日 (金) ・ 乳幼児相談 13：30 ～ 15：00

○問合せ先 松浦市保健センター ☎ 0956-72-4747

★ 総 合 健 診 ★

7月上旬の日程

7月4日 (火) 13：30 ～ 14：30

5日 (水) ～ 9日 (日) 8：30 ～ 10：30、13：30 ～ 14：30

場所：文化会館

○健診日程表を確認の上、受診してください。

★ 休日当番医 ★

月 日	当 番 医 療 機 関
6月4日	平田医院 ☎ 0956-72-2521
11日	菊地病院 ☎ 0956-72-0151
18日	間宮医院 ☎ 0956-75-0208
25日	市民病院 ☎ 0956-72-2166
7月2日	武部病院 ☎ 0956-74-0007
9日	白壁医院 ☎ 0956-74-0221

※当番医は変更になることがあります。

★ 健康テレビホンサービス ★

6月のテレビホンセンター

月	おなかが張る
火	梅雨時の足腰の痛み
水	おしっこが近い子ども
木	目薬の使い方
金	ひきこもり
土日	精液に血が混じったら
☆佐世保 ☎ 0956-23-4300 ※祝祭日は前日のテーマが流れます	

★ 「愛の献血」にご協力を！ ★

6月22日 (木)

9：30 ～ 12：00 九州電力(株)松浦発電所
13：30 ～ 16：00 オサタ松浦店

★ 今月の税金 ★

・ 国民健康保険税 (6月分)

・ 市県民税 (1期分)

※今月の税金の納期限は6月30日です

消防だより

松浦地区消防本部
☎ 0956-72-1211



AEDを使った 応急手当講習会を開催します

AEDとは、「自動体外式除細動器」の略語で、除細動（電気ショック）ができる機器のことです。一般の人を対象とした心肺蘇生法とAEDの使用方法を取得してもらうため、講習会を開催します。あなたの家族や周りの人の救命のため応急処置の講習会を受けてみませんか。

- 日時 6月18日、25日（日）午後1時～4時
- 場所 市役所市民ホール
- 対象者 中学生以上の人
- 定員 一日30人以内
- 申込方法 申込書を提出（電話申込も可）
※筆記用具を持参してください。
- 問合せ先 消防課警防係
- ※地域や職場でAEDを使った応急手当講習を受けたい人は、5人以上であれば指導に伺います。

温かい心ありがとうございます

一般寄付

- 松浦市に金一封
- 岡 久恵様（愛知県大治町）
- 内田 正己様（岡山県総社市）
- 青島小中学校へ絵画
- 村辺 勝様（星・青島）
- 香典返し・忌明・寄付
- 田代小学校へ金一封
- 赤石 光政様（御・郭公尾）
- 松浦市社会福祉協議会へ金一封
- 朝永 洋子様（志・長野）
- 福島支所
- 志水 好春様（福・播磨釜）
- 鈴田 満徳様（福・福岡）
- 大串アヤ子様（福・鍋串）
- 米男様

【鷹島支所】

- 大石嘉津見様（鷹・里）
- 志佐地区社会福祉協議会へ金一封
- 石川 由子様（志・西山）
- 大石 清三郎様
- 大石 純彦様（志・稗木場）
- 板木 道雄様（志・里1）
- 松本美喜子様（志・住吉通）
- 前田 忠夫様
- 田中 一郎様（今・滑栄）
- 坂本 實様（今・仏坂）
- 渡口スミエ様（今・木場）
- 千葉 フサエ様（今・北東1）
- 川原 愛子様（今・恵比須町）

戸籍だより

4月19日～5月19日（敬称略）

ご結婚 おめでとう

- （吉井 一途 今・仏坂）
- （青嶋 ゆかり 今・青島）
- （高石 猛 御・札場）
- （丸岡 温子 御・宗像市）
- （久保川 司 御・江口1）
- （神田 絵美 御・小船）

お誕生 おめでとう

- （内は親の名前）
- 内野 波輝（明光） 御・雇進
- 倉持心々愛（夕季也） 福・福崎
- 森山 美咲（哲司） 志・長野
- 山口 秀翔（浩正） 星・星鹿
- 前村 環奈（誠） 志・下高野
- ホールマン 妃菜子（ポーリン）

ごめい福を お祈りいたします

- 大石 憲政（高弘） 鷹・阿翁
- 久家 絢（健一） 調・雇進
- 久田 昂（幸作） 志・田ノ平
- 黒田 勇紀（雄三） 御・前田
- 吉野 寛斗（寛二） 調・七区ノ二
- 石田 啓介（直樹） 志・白浜団地
- 前田 陸翔（祐輝） 今・木場
- 松園 翔太（紀光） 福・福崎
- 志水 知（75歳） 志・庄野
- 山村 博康（86歳） 調・江口2

行政区（施設名）の前は、各町名の一字を表記
（例）志佐町○○の行政区の場合 志・○○

宮田 學 (75歳)	石田 壽子 (88歳)	里森 茂男 (78歳)	田中ウメノ (95歳)	津田 茂 (87歳)	松島 史明 (53歳)	武本 彰 (60歳)	立石 義治 (45歳)	森田 俊雄 (78歳)	毛利 エキ (87歳)	福本 クラ (87歳)	小松 千秋 (57歳)	松田 安定 (71歳)	月森 勝士 (66歳)	岩永 絹枝 (76歳)	津崎 利幸 (77歳)	西 弘子 (68歳)	森 幾太郎 (86歳)	山口アサ子 (79歳)	江島 敏明 (77歳)	大串 米男 (73歳)	長谷 定男 (78歳)	谷川キンエ (87歳)	野中ヨシ子 (89歳)	今木九十九 (78歳)	松本太市郎 (74歳)	前田 スミ (87歳)	田中 多鶴 (86歳)	飯塚 敏郎 (77歳)	今村 幸夫 (71歳)
福・土谷	御・大崎下	御・小船	志・栢ノ木	今・滑栄	御・中野	調・江口1	御・泉	鷹・阿翁浦	今・福徳	福・鍋串	星・北久保	御・中野	調・江口1	鷹・殿ノ浦	星・大石	志・上高野	鷹・阿翁	志・三栄	今・北東3	福・いろは島荘	御・青山荘	今・恵比須町	調・江口3	調・上免	志・住吉通	星・川原辺田	志・蛭子崎東	御・池田上	調・前浜



市報 まつうら 6月号

No. 6

平成18年6月1日発行

■編集発行／松浦市役所企画振興課
〒859-4598 長崎県松浦市志佐町里免365番地
電話 0956-72-1111 FAX 72-1115
松浦市からは 47-3011 鷹島町からは 48-3011
ホームページアドレス <http://www.city-matsura.jp>
Eメールアドレス matsura@city-matsura.jp
■印刷／有限会社タイセイ印刷

松浦への
思いを語る

リレーエッセー⑤

まさお
宮崎 政夫さん
(鷹島・阿翁浦、33)



長女の美光ちゃんと一緒に

○職業・仕事内容

鷹島町阿翁浦港にある宮崎旅館の3代目です。収容客数20人ほどの小さな旅館ですが、妻と共に二人三脚で頑張っています。

○松浦市の好きな場所・特長

海の青と山の緑が織りなす素晴らしい眺めは、どこをとってもお気に入り。の場所と言えます。自然により近く人との触れ合いも多く、子どもを安心して遊ばせる事のできる環境はとてもありがたいです。

○筆者が現在頑張っていること・アピールポイント

数年後は本土と鷹島を結ぶ大橋が完成します。完成後は、人の往来は確実に増えるでしょう。今後は、営業形態を変えなければならないかも。と思ひ、昨年ホームページを開設しました。また、旅館で松浦市の特産品を使った料理も多く取り入れるようにしています。観光業に携わる者として、今後少しでも多く松浦市に貢献できればと思います。

次回とは…

宮崎さんから、宮田孝輝さん(御厨・池田)にバトンタッチ！

人口

平成18年5月1日現在

人口	27,519 (-39)
男	13,112 (-20)
女	14,407 (-19)
世帯数	10,297 (28)

編集室から

今回、土谷棚田を後世に伝えるために活動する土谷地区の取り組みを紹介しました。和の家も土谷棚田で米を作っています。取材を進める中で後継者不足の話や耳にするたびに、自身に問いかけられているような感じを受けました。

また、5月7日に行われた土谷棚田の火祭りが、翌朝の全国ニュースで報道され、とても驚きました。和は、例年はスタンプとして、今年は取材も兼ねて参加しました。一度でいいから、観客としてゆっくり見てみたいなあ…。

(和)

福岡まで1時間！ 西九州自動車道 早期完成



この広報紙は環境と自然保護のため再生紙(100%)を使用しています。